

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

## 令和2年 1 2月のHPきごころ通信 (先月の話題)

### 目次

- (1)  住友林業 純利益上振れ
- (2)  建設工事単価が下落 鉄筋 4% コロナ禍で受注低迷 9月
- (3)  鹿島、ロボに作業半分託す AIで熟練工の技再現
- (4)  がん10年生存率 58% 1.1ポイント上昇 標準治療、全国に普及
- (5)  政令市の借り入れ負担 際立つ 815市区 2019年度
- (6)  ゼネコン12社受注高 10年ぶり低水準 4~9月
- (7)  プラごみ海洋流出 上位はアジア
- (8)  地方に広がる「健康経営」 自治体の企業認定拡大

### (1) 住友林業 純利益上振れ

\*住友林業は、2020年12月期(4~12月)の連結純利益が前年同期比9%減の205億円になりそうと発表。従来予想の110億円から上方修正。

\*米国の住宅販売が好調。

米国では低い住宅ローン金利や、中古住宅の供給不足などを背景に住宅販売が好調。

\*米国とオーストラリアの住宅販売戸数が計5888戸と前年同期比28%増えたことがけん引。

(2020年11月13日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



### (2) 建設工事単価が下落 鉄筋 4%

#### コロナ禍で受注低迷 9月

\*鉄筋の切断や建設現場での組み立てといった工事の東京地区の市場単価は、9月時点で前年同月に比べ4%安。

\*工事の減少で2019年秋から下落傾向。

\*新型コロナで、中小ビルやホテルの計画見直しや遅れが発生。

\*ゼネコンからの発注単価が下がりやすくなり、工事単価にも下げ圧力。

\*ビルの柱や梁に使う鉄骨の加工組み立てや現場作業といった工事単価も下がっています。

\*超高層ビルの鉄骨工事の工事単価は、1年前と比べ数%の下落にとどまっています。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- \*鋼材の価格は、メーカーの減産などで上昇。
- \*鉄筋に使う異形棒鋼の東京地区の流通価格は、9月に3%上がりました。
- \*鉄骨のH形鋼も10月、東京地区の流通価格が1年9か月ぶりに上昇。  
(2020年11月17日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

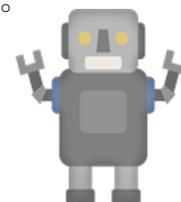
### (3) 鹿島、ロボに作業半分託す AIで熟練工の技再現

#### 2024年までに競合他社に出稼ぎ

- \*鹿島が建設現場にロボットを相次ぎ投入。
- \*人工知能(AI)が溶接作業を制御し、鉄骨に耐火材を吹き付ける専用機の開発も。  
溶接する箇所をロボットが「ひと目で」するだけで、角度や隙間を判別。速度などを自動で調整して、梁や柱を溶接します。  
ロボットに無数のパターンを覚えこませました。さらに1年かけて熟練工の操作を見せ、加減速のタイミングなどを学習させました。  
1台当たりの減価償却コストは年数百万円になる見込み。  
無人かつ24時間連続で溶接作業に取り組めるロボットも開発中。
- \*断熱材メーカーなどと共同で鉄骨の耐火材吹き付け作業に特化したロボットを現場で実用化。
- \*鹿島が現場で運用するロボットの種類は11月時点で8種類。
- \*2024年までに建築作業の半分でロボットと協働し、管理作業の半分を遠隔にします。
- \*鹿島は今後、ロボットごとに専門部隊を立ち上げて様々な現場に派遣する方針。

#### ゼネコン3社 開発連携

- \*鹿島と竹中工務店は1月、技術開発で包括連携すると発表。
- \*両社が開発したロボットを相互利用。
- \*10月には清水建設も加わりました。  
(2020年11月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



### (4) がん10年生存率58% 1.1ポイント上昇

#### 標準治療、全国に普及 5年生存率は68%

- \*2004~2007年のがんと診断された人の10年後の生存率は58.3%。  
2003~2006年に比べ1.1ポイント上昇。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

\*生存率改善は新しい治療法の登場よりも、標準的な治療が全国的に受けられるようになってきたことが背景に。

主ながんの生存率

	5年(2000~2012年)	10年(2004~2007年)
前立腺がん	100.0	98.8
乳がん	93.6	86.8
甲状腺がん	92.6	85.7
子宮体がん	86.3	81.6
子宮頸がん	75.7	68.7
大腸がん	76.5	68.7
胃がん	74.9	66.8
卵巣がん	65.3	48.2
肺がん	46.5	32.4
肝臓がん	38.1	16.1
胆のう胆道がん	28.9	19.1
すい臓がん	11.1	6.2

※()内は診断年。国立がん研究センター集計。

(2020年11月20日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (5) 政令市の借入れ負担 際立つ 815市区 2019年度

\*全国792市と東京23区の2019年度決算で、「借入金」にあたる地方債残高は政令指定都市合計で18兆円近くに。最多は横浜市で2兆3926億円。

#### ★経常収支比率

\*常に必要な経費に対し、毎年度継続して得る収入をどれだけ費やしているかの指標。

\*高いほど財政が硬直的で、政策に自由に使えるお金が少ないことを指します。

1位	夕張市	北海道	126.3%
2位	御坊市	和歌山県	107.4%
4位	御所市	奈良県	104.3%
6位	天理市	奈良県	103.9%
8位	泉佐野市	大阪府	103.1%
8位	大東市	大阪府	103.1%
8位	宇陀市	奈良県	103.1%



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

### ★自主財源比率

- \*歳入全体に占める自主的な財源の割合。
- \*比率が高いほど自主的に行政運営ができます。
- \*自主財源には地方税のほか、上下水道の利用料金など。ふるさと納税の寄付も。

1位	みよし市	愛知県	82.4%
2位	泉佐野市	大阪府	81.3%

### ★住民1人当たりの個人住民税

- \*住民が行政サービスを受けるために支払う税。
- \*負担能力によって支払額が変わります。

1位	港区	東京都	30.7万円
7位	芦屋市	兵庫県	14.1万円

### ★住民1人当たりの扶助費

- \*生活困窮者や児童、高齢者らの支援に充てる経費。
- \*多いほど社会保障負担が重いことを示しています。
- \*大阪市は上位の常連で、生活保護の支給が多いことで知られます。

1位	奄美市	鹿児島県	22.8万円
3位	大阪市	大阪府	21.0万円

(2020年11月23日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (6) ゼネコン12社受注高 10年ぶり低水準 4~9月

- \*2020年4~9月期のゼネコン大手4社と準大手8社による建設受注高は合計2兆6880億円と、10年ぶりの低水準。
- \*価格競争の動きも出ており、将来の利益を圧迫する要因に。
- \*受注高が前年同期に比べ減ったのは12社中8社。
- \*2021年3月期の受注予想は、合わせて前期比1%増の8兆2410億円の見通し。

12社中7社が減少を見込んでいます。

(2020年11月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(7)  **プラごみ海洋流出 上位はアジア**

2010年に海洋流出したプラごみの国別発生量

1位	中国	353万トン
2位	インドネシア	129万トン
3位	フィリピン	75万トン
4位	ベトナム	73万トン
5位	スリランカ	64万トン
20位	米国	11万トン
30位	日本	6万トン



(2020年11月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(8)  **地方に広がる「健康経営」 自治体の企業認定拡大**

\*従業員の健康維持を支援することが企業価値を高めるという「健康経営」が、地方企業にも広がってきました。

\*地方自治体も独自の認定制度を整備。

\*従業員がより健康になれば病気による休業が減り、業績にも好影響が期待されます。

\*健康に配慮していることを広く伝えることで、人材確保でもプラス効果があります。

**「結構寿命延伸」国も後押し 医療・介護費の抑制狙う**

\*経済産業省は「人生100年時代」の基盤として企業の健康経営を後押し。

\*同省は2016年度から健康経営に取り組む企業を「健康経営優良法人」に認定。

「健康経営優良法人」認定の主な効果

- \*従業員の健康に対する意識向上
- \*健康経営の取り組みのさらなる推進
- \*顧客や取引先に対する企業イメージの向上
- \*講演・インタビューなどPR機会の増加
- \*社内コミュニケーションの活性化
- 従業員の仕事満足度・モチベーションの向上
- \*有給休暇取得率の向上
- \*時間外労働の減少（労働時間の適正化）



※経産省調べ、中小企業対象

(2020年11月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)